



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	105,028	2.1	6,789	△14.2	7,364	△1.7	4,857	△4.6
29年3月期第2四半期	102,848	△8.3	7,916	30.6	7,490	37.1	5,092	47.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,745百万円 29年3月期第2四半期 △8,896百万円

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	111.31	—
29年3月期第2四半期	116.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	212,689	124,045	52.6
29年3月期	208,584	119,340	51.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 111,865百万円 29年3月期 107,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
30年3月期	—	19.00			
30年3月期(予想)			—	20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	△3.9	13,200	8.3	13,200	8.5	8,800	△9.3	201.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	43,931,260株	29年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	293,194株	29年3月期	297,672株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	43,635,994株	29年3月期2Q	43,629,356株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 経営成績に関する説明 .....	2
	(2) 財政状態に関する説明 .....	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 .....	5
3.	四半期連結財務諸表及び主な注記.....	6
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
	(継続企業の前提に関する注記) .....	12
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
	(セグメント情報等) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、堅調な雇用情勢を受けて、緩やかに景気が回復しました。

海外においては、米国で雇用・消費の伸びに鈍化が見られるものの、景気は底堅さを維持し、欧州でも雇用が緩やかに回復し、景気は堅調に推移しました。新興国経済も総じて改善傾向となりました。

自動車業界におきましては、日本では、登録車・軽自動車ともに自動車販売が前年比で増加しました。海外では、北米の自動車販売が高水準ながら伸び悩んだ一方で、アジア諸国では、中国を筆頭に市場は概ね成長基調となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは、ガソリン車のみならず、より一層の軽量化が求められる電動車(EV)への対応も視野に入れて、超ハイテン材、ホットスタンプ技術及びアルミ等の非鉄材を用いた異材接合技術等の進化を進めてまいりました。

この取り組みの一環として、先般のイギリス工場拡張の決定に加え、欧州高級車メーカーからのアルミ部品新規受注を受けて、当社初となる欧州大陸の生産拠点をスロバキアに新設することを決定しました。

イギリス工場を将来のアルミボディ生産のマザー拠点として量産ノウハウを磨きつつ、スロバキアでアルミボディの生産を本格化してまいります。

また、得意先の能力拡大に対応するため、中国のWuhan Auto Parts Alliance Co., Ltd.社の第二工場を新設することを決定しました。

中国では、上海に新設したリサーチオフィスによる市場動向調査を踏まえ、欧州で先行するアルミボディ量産技術を新たな武器として、取引の拡大に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績については、中国・欧州等における増産により量産売上が増加した一方で、型設備・試作売上が減少し、売上高は105,028百万円(前年同期比2.1%増)となりました。利益につきましては、北米における製造費用の一時的な増加等により、営業利益は6,789百万円(前年同期比14.2%減)、経常利益は、持分利益の改善及び為替差損の縮小等により、7,364百万円(前年同期比1.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,857百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	27,573	24,619	△2,954	△10.7%
営業利益	837	768	△69	△8.2%

売上高は、量産売上が横ばいとなりましたが、型設備及び試作売上の減少等により、24,619百万円(前年同期比10.7%減)となりました。営業利益は、原価低減に努めたものの、減収の影響に加え、トランスミッション部品売上の減少及び機種構成の変化等により、768百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

## ②北米

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	37,341	40,390	3,048	8.2%
営業利益	2,167	1,020	△1,146	△52.9%

売上高は、新型アコードの型設備売上等により非量産売上が増加したことに加え、為替換算の影響等により、40,390百万円(前年同期比8.2%増)となりました。営業利益は、新機種立ち上がりに伴い、一時的に労務費等の製造費用が増加したことにより、1,020百万円(前年同期比52.9%減)となりました。

## ③欧州

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	9,846	7,519	△2,327	△23.6%
営業利益	1,339	1,106	△233	△17.4%

売上高は、シビック及びジャガー向け車種の増産により量産売上が増加した一方で、型設備売上が減少し、7,519百万円（前年同期比23.6%減）となりました。営業利益は、型設備売上の利益の減少等により、1,106百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

## ④アジア

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	18,479	18,326	△152	△0.8%
営業利益	2,403	1,871	△531	△22.1%

売上高は、アジア市場全体の生産が回復基調となり、型設備売上の減少があったものの、前年並みの18,326百万円（前年同期比0.8%減）となりました。営業利益は、型設備売上の利益の減少等により、1,871百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

## ⑤中国

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	15,699	17,660	1,960	12.5%
営業利益	920	1,590	670	72.8%

売上高は、増産により量産売上が増加し、17,660百万円（前年同期比12.5%増）となりました。営業利益は、増収効果に加え、コスト低減の取り組みにより、1,590百万円（前年同期比72.8%増）となりました。

## ⑥南米

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	2,913	3,522	609	20.9%
営業利益	207	238	30	14.8%

売上高は、量産売上の増加及び為替換算の影響等により、3,522百万円（前年同期比20.9%増）となりました。営業利益は、原価低減の取り組み及び為替換算の影響等により、238百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より4,105百万円増加し、212,689百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より599百万円減少し、88,643百万円となりました。これは主に、未払金、長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より4,705百万円増加し、124,045百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、20,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,160百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、604百万円減少し、12,340百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少及び減価償却費の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、4,491百万円増加し、10,637百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、7,786百万円減少し、23百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年度3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月11日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,606	20,774
受取手形及び売掛金	27,395	27,297
製品	857	988
仕掛品	14,141	13,110
原材料	2,555	2,554
貯蔵品	804	838
その他	5,475	5,954
流動資産合計	69,836	71,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,583	47,613
機械装置及び運搬具(純額)	38,375	35,990
工具、器具及び備品(純額)	17,771	17,691
土地	10,669	10,676
建設仮勘定	11,045	15,251
有形固定資産合計	125,446	127,222
無形固定資産	2,685	2,713
投資その他の資産		
投資有価証券	8,210	8,839
その他	2,405	2,396
投資その他の資産合計	10,616	11,236
固定資産合計	138,747	141,172
資産合計	208,584	212,689
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,086	18,817
短期借入金	13,670	18,694
1年内返済予定の長期借入金	8,241	9,693
未払金	7,914	7,153
未払法人税等	865	1,272
賞与引当金	1,066	1,533
その他	6,093	4,204
流動負債合計	55,938	61,369
固定負債		
長期借入金	24,927	19,525
退職給付に係る負債	1,579	1,575
役員株式給付引当金	246	310
その他	6,551	5,862
固定負債合計	33,304	27,274
負債合計	89,243	88,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	68,625	72,697
自己株式	△358	△352
株主資本合計	96,581	100,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	2,091
繰延ヘッジ損益	△30	△10
為替換算調整勘定	8,952	9,287
退職給付に係る調整累計額	△183	△162
その他の包括利益累計額合計	10,833	11,206
非支配株主持分	11,925	12,180
純資産合計	119,340	124,045
負債純資産合計	208,584	212,689

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	102,848	105,028
売上原価	88,560	91,810
売上総利益	14,288	13,217
販売費及び一般管理費	6,371	6,428
営業利益	7,916	6,789
営業外収益		
受取利息	86	125
受取配当金	79	84
持分法による投資利益	345	681
その他	144	249
営業外収益合計	655	1,140
営業外費用		
支払利息	469	399
為替差損	603	107
その他	8	58
営業外費用合計	1,081	565
経常利益	7,490	7,364
特別利益		
固定資産売却益	14	7
投資有価証券売却益	79	—
特別利益合計	94	7
特別損失		
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	7,584	7,372
法人税等	2,022	2,241
四半期純利益	5,561	5,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	468	273
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,092	4,857

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,561	5,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△241	△3
繰延ヘッジ損益	8	19
為替換算調整勘定	△13,939	682
退職給付に係る調整額	38	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△324	△105
その他の包括利益合計	△14,457	614
四半期包括利益	△8,896	5,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,045	5,229
非支配株主に係る四半期包括利益	△850	515

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,584	7,372
減価償却費	10,802	9,959
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	60	22
賞与引当金の増減額(△は減少)	553	464
受取利息及び受取配当金	△165	△209
支払利息	469	399
持分法による投資損益(△は益)	△345	△681
投資有価証券売却損益(△は益)	△79	—
固定資産除売却損益(△は益)	△14	△7
売上債権の増減額(△は増加)	△1,709	△144
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,347	△751
仕入債務の増減額(△は減少)	1,576	584
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△168	△455
前受金の増減額(△は減少)	△2,027	△1,410
未払金の増減額(△は減少)	△427	△514
その他	494	△219
小計	15,255	14,408
利息及び配当金の受取額	164	167
利息の支払額	△513	△402
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,961	△1,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,945	12,340

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△6
有形固定資産の取得による支出	△5,991	△10,403
有形固定資産の売却による収入	16	8
無形固定資産の取得による支出	△139	△198
投資有価証券の取得による支出	△169	△57
投資有価証券の売却による収入	139	—
その他	△0	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,146	△10,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,633	5,109
長期借入れによる収入	7,409	—
長期借入金の返済による支出	△6,245	△3,763
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△349	△322
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△741	△785
非支配株主への配当金の支払額	△249	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,810	△23
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,767	480
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,778	2,160
現金及び現金同等物の期首残高	14,604	18,189
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39	—
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,743	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,609	20,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	19,999	36,946	9,738	18,082	15,169	2,913	102,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,574	395	108	397	530	—	9,006
計	27,573	37,341	9,846	18,479	15,699	2,913	111,854
セグメント利益	837	2,167	1,339	2,403	920	207	7,875

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,875
セグメント間取引消去等	41
四半期連結損益計算書の営業利益	7,916

## 3. 報告セグメントの変更などに関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT(Deutschland) GmbH.を連結の範囲に含め、新たに「欧州」セグメントに加えております。
- (2) 第1四半期連結会計期間より、当社における原材料及び貯蔵品の評価方法を移動平均法及び最終仕入原価法から、それぞれ先入先出法に変更しております。

この変更による第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	18,847	40,077	7,311	18,266	17,002	3,522	105,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,771	312	208	59	657	0	7,010
計	24,619	40,390	7,519	18,326	17,660	3,522	112,039
セグメント利益	768	1,020	1,106	1,871	1,590	238	6,595

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,595
セグメント間取引消去等	193
四半期連結損益計算書の営業利益	6,789